

| | |
|-----|---------------|
| 学校名 | 草加市立両新田中学校 |
| 所在地 | 草加市両新田西町368-1 |
| 電話 | 048-924-5051 |

1 本校の概要

開校：昭和54年（開校42年）
 教育目標：「自ら学び 心豊かに たくましく」
 学級数：17学級（通常学級14・特別支援学級3）
 生徒数：500名

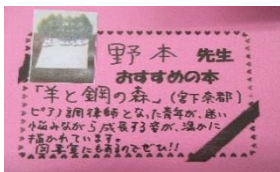
2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実による学習意欲の向上に係る取組
- ・ 特色ある読書活動の取組

(2) 実践の概要

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 学期ごとの「多読賞」の授与
 - ・ 国語の授業での「本の紹介ポップ」の作成・掲示
 - ・ 図書委員による学校図書館内の「本の紹介ポップ」の作成・掲示
 - ・ 読書月間中の「読書ビンゴ」の実践
 - ・ 本校教職員による「おすすめ本」紹介カードの作成・掲示



- イ 言語活動の充実による学習意欲の向上に係る取組
- ・ 国語辞典の全学年フロア設置
 - ・ 国語辞典を活用した「言葉の意味調べ」コーナーの設置
 - ・ 公立高校入試に出題された作品の紹介・掲示



ウ 特色ある読書活動の取組

- ・ 昼の校内放送を利用した演劇部による「走れメロス」の朗読劇



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読書に対する意欲の向上

様々な取組を通じて生徒たちの学校図書館の利用頻度が上がった。また、「本の紹介ポップ」の作成では、図書委員やクラスメイトの作成したポップを見て、実際にその本を学校図書館で借りる様子が見受けられた。

イ 言語活動の充実など学習意欲の向上に係る取組

図書館に保管していた国語辞典を各学年フロアに設置することで、授業での辞書利用がスムーズに行われた。また、公立高校入試で扱われた作品を紹介することで、進路に対する意識を高めることができた。

ウ 演劇部「走れメロス」の朗読劇校内放送

生徒が授業で扱う作品を、朗読劇の形式で聞くことで、作品への興味・関心をより一層高めることができた。次年度以降は、定期的に他学年の教科書に掲載された作品についても行う。その際は、演劇部に限らず、学年や学級対抗の形式で実践していきたい。

(2) 課題

ア アニメのノバライズ本やライトノベルなど、生徒の読む本に偏りが生じている。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学級文庫の貸し出しを中止したため、その偏りが一層顕著になった。今後は“中学生に読んでほしい本”をどのように生徒に読んでもらうかが課題である。

イ 本校には生徒玄関に「良心伝（りょうしんでん）文庫」コーナーが設けられている。寄贈された本や教職員の寄付による約600冊の本が置かれており、誰でも手に取って読むことができる。

しかし、本自体が非常に古く、日焼けや傷みがある。今後は、生徒がより興味を引き、良質な本を手に取りやすくする方法を模索し、「良心伝文庫」を継続していく必要がある。

(3) おわりに

今回の読書活動推進における取組を通じ、配架や展示方法の変更、古い本の廃棄、新しい本を入れるスペースの増加等により、生徒の読書への興味・関心が高まった。一方で、読む本の質の向上や読書を通じた学習意欲の向上など、課題を見つけることができた。今後も司書教諭や図書担当教員が学校司書と連携して読書活動の推進にあたり、他の教職員や保護者・地域とともに、学校全体で「興味・関心を高める読書活動」に取り組む必要がある。